

第10回シェイクスピア・ワークショップ

メンバー： 円浄 ゆり(津田塾大学大学院博士課程)
日比谷 沙紀(東北大学大学院修士課程)

司会： 円浄 ゆり

コメンテーター：川田 潤(福島大学教授)
吉原 ゆかり(筑波大学准教授)

第10回シェイクスピア・ワークショップは、第54回シェイクスピア学会の一環として北海道教育大学函館校にて2015年10月11日(日)に開催されました。発表者数は例年より少ないながらも、準備段階よりメンバー間の活発な意見交換にコメンテーターからの有益なアドバイスが加わり、大変充実したプログラムとなりました。

ワークショップ当日は、メンバー二人の発表の後、川田、吉原両先生からコメントをいただき、その上でフロアも交えての議論が行われました。まずは円浄ゆりさんが'Edmund Spenser's "Doctrine by Ensample" in *The Faerie Queene*'というタイトルで、『妖精女王』における格言の使用と道德教育との関わりについて英語で論じました。『妖精の女王』における読者への道德教育の手法について、スペンサーは1590年版に付された手紙の中で、「格言」による教えよりも「例示による教え」を重要視すると述べる一方で、実際は「例示」である各物語のクライマックスに「格言」を挿入して物語の道德性を強調する場合が多々見られる、という気づきが円浄さんの論考の出発点です。そこから具体例を用いて、スペンサーの「例示による教え」は「格言」なしには論じられないことが示されました。さらに、スペンサーの「格言」について、1590年版と1596年版では活用法に変化があった点も指摘されました。

続いて日比谷沙紀さんが「*King Lear*における道化と〈無〉」という論題のもと、コーディリアと道化との重ね合わせを通して、『リア王』が提示する虚無的な世界観について考察しました。『リア王』において、nothingの概念は、善を象徴する人物たちが一貫して目指す真実である、という想定に基づき、nothingによって表される真実の「体现者」であるコーディリアと、彼女とダブルの関係である道化とが作品の重要人物として提示されました。道化は、自分の伝統的な特質である「嘲笑の的」と「知恵者」という二面性を利用して、この芝居を俯瞰する立場に身を置き、コーディリア不在時に真実の「伝達者」としての機能を果たした、というのが日比谷さんの主張です。さらには、芝居の途中で二人が登場しなくなることの意味について、また、nothingという概念とシェイクスピアが劇作家

として芝居という虚構世界に抱いていた思いとの結びつきについても考察がなされました。最終的に、虚構世界しか描けない儚さを悟りつつ、世界を集約した戯曲を操る俯瞰的視点を持つ劇作家の姿と、作中の道化とを重ね合わせる形で、日比谷さんの論考は締めくくられました。

発表に続くディスカッションでは、コメンテーターの先生方より、大局的な視点からの示唆に富むコメントが寄せられました。円浄さんの発表については、スペンサーの道德教育の対象であったジェントルマン層を文化的背景として取り入れることや、90年版から96年版への変化を当時の政治的、社会的状況と結びつけること等、今後に向けての助言がなされました。日比谷さんの発表をめぐっては、キーワードである *nothing* についてより明確に定義づけるための枠組みを構築することや、パフォーマンスとしての側面から作品にアプローチすることの重要性などについて、有益な指摘をいただきました。そのほか、先行研究の整理の仕方や、作品の受容者に十分に目を配ることの意義など、今後の研究全般に大いに資するピックにも議論が及びました。とくに後者は、今回の二つの発表に実は共通する *didacticism* というテーマに関わることで、ディスカッションの過程で明らかになりました。

今回メンバーが扱った作品は、作者もジャンルも異なるものの、エリザベス朝末期からスチュアート朝初期にかけての価値観の変動の時代の文脈に、それぞれの形で位置づけられるものでした。日頃間近で見入ってしまいがちな研究対象を、より大きな見取り図の中に配置する経験は、ワークショップという形式ならではの収穫だったのではないのでしょうか。若い二人の研究者が、コメンテーターやフロアからの、柔らかく表現されているものの本質的に鋭い疑問点やコメントに対して、時折考え込みつつも真摯にかつ澁刺と応答している様子が印象的でした。6月のワークショップ開始時以来、4ヶ月という長い期間に亘って、力強く伴走してくださったコメンテーターの先生方に、また当日良き助言者および聴衆として参加してくださいました方々に、改めて感謝申し上げます。

(文責:ワークショップ担当委員 阿部曜子)

